

今後の練習のご案内

5月22日 (日)	12:00 ~ 15:00
6月 5日 (日)	12:00 ~ 15:00
6月12日 (日)	12:00 ~ 15:00
7月17日 (日)	12:00 ~ 15:00
7月24日 (日)	12:00 ~ 15:00

千寿本町小学校 スリッパ持参

参加費:1000円 マスク着用

5月からの練習

5月から新しい曲を練習します。

あだちフレンズハーモニーの仲間が増えるよう、

お友達などに声をかけましょう。

よろしくお願いします。

陶山先生から

皆さん、お元気ですか？

この文章は、今月の田辺先生の文章を読んだ後書いたものなのですが、僕も「時代が変わったなあ〜」と思ったことがあるので、田辺先生の真似

をして何個か書いてみます。

僕の長男が新居を作りました。まだ27歳なので、感心なものだと思います。

さて、その新居なのですが、最新式の設備がいくつもあって、それはそれで面白いのですが、特に「時代が変わったなあ〜」と思ったことがあります。それは、その家にはベランダがないのです。つまり洗濯ものや布団を干す場所がないのです。

皆さんの中で、もしそういうマンションに住んでいる方がいるなら当たり前なのかもしれません。また、最近はベランダがあるマンションでも、外観上、手すりの高さ以上に洗濯物を干してはいけない、というところがあるのは知っています。もちろん外には一切干してはいけない、というマンションもあります。

でも、新築の一軒家で、最初からベランダを作らず、洗濯物は乾燥機で乾かす、と決めているのは初めて見ました。ハウスメーカーから「今はこの方式が主流だ」、と勧められたのだそうです。

確かに、共働きの夫婦なので、外に干して天気心配するよりは、中で安心して干したい、という気持ちもわからなくもありません。

妻と二人で家の中にある乾燥室などを見たのですが「やっぱり天気のいい日は外に干したいよねえ」と話したところでした。もちろん本人たちは何も言いませんでしたが、皆さんはどう思いますか。

次。

これも息子のことになります。次男が就職して独立したいと言ってます。それで、家具なのですが、テレビはらない、というのです。たしかにこのところで一気に若者を中心に「テレビ離れ」が進んでいることは事実です。かつての昭和時代のように「今日の8時から～があるから」と言ってテレビの前で楽しみにして待っていたり、バブル期のようにスポンサーが湯水のようにお金を出して、見たくない番組を作ってだらだらと流す、という時代はとっくに終わっています。

僕も、昔からテレビはあまり見ませんでしたし、今は家に24時間全チャンネル録画のレコーダーがあるので、リアルタイムにテレビの前にかじりつく、ということがなくなったし、そもそもその録画もパソコンから見れるのでテレビ画面は必要なく、本当に見たいテレビ番組はレコーダーだけで事足りるようになっています。

でも、リビングにテレビがないなんて、やはり今までの僕には考えられません。考えてみれば今は、パソコン、タブレット、スマートフォンなどで、「いつでも」「どこでも」「なんでも」みることができるようになっていることも事実です。そして、僕がテレビの前に座るとすると、それは目的があつてのことではなく、目的もなくただ暇つぶしに見ていることがほとんどであることに気が付きます。つまり、今の僕でもテレビは必要ないといってもいいのかもしれない。

たしか、昭和の三種の神器が、テレビと洗濯機と冷蔵庫だったと思います。このうちのテレビが滅亡寸前の危機にある、ということはとても興味深いことでした。

最後。

今話した二人の息子の家ですが、固定電話はありません。これも少し前から若者を中心に「当然」のことになっています。それでも少し前なら、住所氏名などと一緒に電話番号を書くときに、携帯しかない、というのほどか気恥ずかしいものでしたが、今は僕自身も、固定電話の番号を書くことはまずありません。書いたとしても家にかかってきて、誰かが出て僕に取り次いで・・・、と、大変面倒くさいことになるのが目に見えているからです。かける相手も、家族に迷惑をかけることになりとても気まずい思いをします。直接本人につながる携帯電話ほど便利なものはありません。

思い出せば、学生時代、好きな女の子に電話をするとき、ドキドキしながらその子の家に電話をかけ、なおかつ本人が出ることはめったになく、いつもお母さんやお父さんが出てしまい、ひやひやしながら取り次いでもらう、という状態だったことを思い出します。今は直接彼女に電話できるなんて天国のようです！ああ、あの頃に携帯電話があつたら……。

というわけで、本番も終わり今日から新しい曲に入ります。

また、楽しく歌っていきましょう。

田辺先生から

皆さん、こんにちは。先月の本番、お疲れ様でした。よく声が出ていたと思います。

ゴールデンウィーク（GW）はいかがされましたか？ GW中に感じた「時代が変わったなあ～」と思った3つを書こうと思います。

①4月30日は国際ジャズデーだそうで、オンライン（インターネット）で、しかも無料で有名な演奏家たちのコンサートライブ（5つ）を自宅で！自宅で！（強調）で聴くことができるということを知り、自宅で高崎やブルーノート（有名なジャズライブハウス）での演奏を楽しんでいました。コロナ禍でこのようなオンライン配信コンサートも増え、その技術も進歩したからでしょうね。コロナ前ではこのようなことは無かったと思います。

②歌を演奏する機会があり、私の伴奏をイタリア留学中で一時帰国中の指揮者の方が弾いてくださったのですが、なんと楽譜が紙ではない！タブレット（iPad）でした。

そのタブレットには、いくつものオペラの楽譜が入っているようでした。紙資源を無駄にしないエコか？

③断捨離。GW中に少しずつ断捨離をしていたのですが、祖父の部屋だった和室に客用座布団5枚。しかも季節に合わせて座布団カバーを変えられるようにカバー数枚。

ん～。いまやほとんど椅子生活になり、座布団に正座することって無くなってきましたよね。たしかにこの座布団、使ったのはいつ？次に使うのはどんな時？5枚もいる？生活様式も変わってきたなあ～と思ったGWでした。
さて、今月から新しい曲ですね。どんな合唱になるのか、楽しみです。

団長のコーナー

今回は日本の歴史について学んだことを述べようと思います。新型コロナの蔓延がなければありえなかった自粛期間のおかげで多々学ぶことが出来ました。

昭和20年の敗戦と同時にアメリカのマッカーサーを中心とする占領軍がやってきて様々な指令を出しました。

小学生だった自分も教科書の特に歴史教科書の文章を墨で何行も消す作業をさせられました。

最近知ったことですが、GHQ指示で日本の重要な図書7769冊を焚書処分にしたとの事でした。

これは日本が二度と欧米に対抗してこない様に日本の伝統、文化そして特に歴史を消し去る目的があったとのことでした。

学生時代は歴史が苦手は何年に何があったかなど記憶テストのようで最も嫌いな教科でしたが、今になって歴史を学ぶことが、如何に大切な事か漸

くわかってきました。

予てからの疑問であった古墳時代で応神天皇から何故大きな前方後円墳が建設されたのか又古墳の中には大量の人物埴輪があるのか、どんな人たちが作ったのか疑問が浮かんできます。

中東のイスラエルに住んでいたユダヤ人は飢饉が続きエジプトに移動しましたがそこで長い間奴隷としてピラミッドの工事等に使われていました。モーゼの導きでイスラエルに逃れました。AD66年ローマ帝国に反逆して立ち上がりましたが逆に皇帝ネロが派遣したローマ軍に徹底的に弾圧され国を追われ「ディアスポラ（流浪の民）」となり諸国を放浪することになったとのこと。

エルサレムの第二神殿を完全に破壊しました（破壊跡の一部が「嘆きの壁」として今も残っている）つまりユダヤ人は生活の根拠である国家の無い民族として世界中を放浪し何処からも阻害されてきた民族になったのです。当時シルクロード沿いにあった中央アジアの「弓月国（クンユエ）」、そこを通じ当時の和国（倭国）に来て帰化したいとの連絡があったそうです。朝鮮半島には新羅があり弓月国の民を受け入れず圧迫していた様です。応神天皇は軍隊を派遣して新羅の妨害を退けて多くの民を和国に受け入れたのです。120県（1万5千人程）だった。

天皇はこれらのディアスポラ（ユダヤ）の人々を受け入れ、太秦（うずまさ）の土地を与え安住さ

せたのです。ユダヤの人々秦氏や土師氏等は初めて土地を与えられ安住の地を得たことで和国に一神教を広めることなく神仏信仰を広める社寺の建設を進めた様です。このユダヤの人々は養蚕、絹織物生産、酒造、土地を改良する土木技術など様々な技術を持っており大和政権は大いに活用したのです。秦氏一族も天皇家と組んで様々な事業を行うことに専念し繁栄しました。永年住むべき土地の無い放浪生活を送ってきたユダヤ人にとって土地を与えられたことはいかに大きなことだったか想像が付きません。

応神天皇の墳墓の大きさは秦氏等帰化人の感謝の気持ちが込められているのかもしれませんが。

遺跡から出土する埴輪（はにわ）には兵士や楽器を演奏する人など様々ですが皆角髪（みずら）を付けています。当時のユダヤ人の習慣です。この埴輪は仁徳天皇がそれまで慣習だった殉死を禁じた代わりです。

尚大きな墳墓建設は聖徳太子が禁止されました。

ホームページ

練習日、「月刊あだフレ」、今後の練習日、音取り音源（youtube）等が載っています。また練習日記には、その日に練習した内容が載っています。復習に是非ご活用ください。

<http://adafre.web.fc2.com/index.html>

月刊あだフレ 第154号 2022. 5. 8.発行

